

# 森と緑の会だより 2007秋号



# 徳島－高知緑の少年団交流会2007

# 2007木と緑のフェアと都市緑化祭 「緑の募金」街頭活動を行います！

10月6日・7日・8日の3日間、植木や花の展示即売、プランターの植え付け教室、竹細工・木の板や実のクラフト体験、無料配布等、是非ご来場を。

秋の「緑の募金」強化期間は、9月1日から10月31日までの2ヶ月間。期間中、高知市中央公園にて開催される『木と緑のフェアと都市緑化祭』の会場にて、今年も緑の募金街頭活動をしますのでご協力をよろしくお願いします。



主催：高知市、(財)高知市都市整備公社、グループみどり会、(社)高知県森と緑の会  
後援：四国森林管理局

# 秋の募金期間スタート！

# 徳島－高知緑の少年団交流会2007

昨年、吉野川上・下流の交流として、徳島県と当県の緑の少年団が集まって、初めての交流会を開催し、長岡郡本山町冬ノ瀬の山で植樹をしました。今年は、その木々の下草刈り＝育樹を行うために、8月20日(月)・21日(火)の1泊2日の日程で、徳島県19名、高知県10名の子ども達、関係者総勢60名が参加して開催しました。

1年ぶりの再会。1日目は、開会式の後、昨年植えた苗木の成長を見ながら、丁寧に草を刈りました。そして、水の美しい汗見川で泳ぎ、アメゴのつかみどりをする等、川に親しました。

翌日は、地元・汗見川活性化委員会・川村さんの案内による周辺散策、竹の食器づくり、そば打ち体験を行いました。最後に、早明浦ダムで早明浦の水の約4割が、徳島県へ使われていることなどを勉強しました。

森の機能や様々な役割、水の大切さを学びながら、嶺北の自然を楽しく体験し、お互いの交流も深まりました。



地元の汗見川活性化委員会と汗見川婦人部、本山町、県嶺北林業振興事務所、大豊町、水資源機構早明浦ダム…関係者のみなさまに本当にお世話になりました。  
主催：(社)とくしま森とみどりの会、(社)高知県森と緑の会 この事業には、「緑と水の森林基金」と「緑の募金」が活用されています。

# 幡多地域で初開講！

「幡多樹木医セミナー」、30名が受講中

今までセミナー開講の希望の声が多かった幡多地域。今年度初めて開講することとなりました。7~10月の間の6回シリーズで、座学は四万十森林管理署を会場とし、現地研修は幡多地域の特色のある場所で行います。



# 緑の募金で高校生の2つの取り組みを支援

6月、県立高知農業高等学校の生徒を対象に、森林環境教育を四国森林管理局が実施しました。また、8月18~19日には1泊2日で若武者育成プロジェクトを県立四万十高等学校の生徒が主体となって企画・運営しました。これらに対し、緑の募金を活用しています。これから将来を担っていく若い世代の学習や取り組みを支援しています。



木材市場(高知市仁井田)を見学



四万十川の環境について中学生を対象に実施

## この人に木きたい！②

香美市は、平成18年度旧3町村の合併後、家庭募金が一時中止となっていました。平成19年度春に復活。173万円もの募金実績をいただきました。春期における関係者の取り組みについて、担当さんにお聞きしました。

香美市は、物部川北部(土佐山田町・香北町・物部村)の流域3町村が平成18年3月1日に合併し、総面積538km<sup>2</sup>の約9割を森林が占めている。合併前(平成17年)の募金総額は、104万5千円。合併後は、家庭募金の経験のない下流域への取り組みが最大の課題だった。

平成18年は、募金の手法や自治会依頼の手順等が定まらず、平成8年頃より継続して実施してきた香北・物部の両地域についても中止。市議会、市役所等での職場募金12万1千円のみで募金活動を終了する事態となり、平成19年3月に実施した植樹事業の要望は取り下げ、「募金をして交付金も使わせていただく」姿勢を堅持した。

広大な森林を持つ当市が募金活動をやらずともよいのか…。下流域の市民の方に『緑の募金』に協力していただくには、直接訪問して森林の多面的機能や募金の必要性、募金の用途、県森と緑の会の活動内容等を説明し、理解を得る必要があった。

平成19年春の募金に向け、市内全地区を対象とし、次のとおり取り組んだ。中には、「来年からなら…」という自治会の声も聞かれていたが、それでも総額は、173万1千円という結果となった。

これには、県森と緑の会事務局の同行をお願いし、説明等に協力していただき、また、香美市議会の理解を得たことも後押しとなった。

そしてなにより実際に自治会に足を運び、説明させて頂き、取り組みを依頼していく中で、市民の方から様々な意見や苦言も頂き、今後の活動や事業実施に向け考慮する事項も生まれ、貴重な財産となつた。募金に協力いただいた市民の皆様に心からお礼を申し上げると共に、募金の用途については、募金

募金をすることで森林や水源に目を向けて、  
春の家庭募金活動を終えて、

された方の思いを尊重し、趣旨に添った事業展開をしていく必要がある。

### 【具体的な経過】

- ・18年8月 市役所庁内協議(課長会)
- ・10月 行政連絡会(自治会長会)で19年春実施について協力依頼。
- ・10月 市議会議員協議会で緑の募金についての説明と募金依頼。
- ・12月 各自治会(193地区)に地区総会等での検討依頼(文書)。
- ・19年2月 各自治会に協議結果と訪問説明希望のアンケート調査実施。
- ・2月~3月 自治会総会、班長会や自治会長宅を訪問し、募金趣旨説明と取り組み依頼。
- ・4月 行政連絡会(自治会長会)で協力依頼
- ・4月~5月 1戸あたり300円を目安として家庭募金を実施

現在、行政や林業事業体、民間企業、NPO、各種団体、その他による多種多様な森づくりが進んでいく。これらは、相互に補完しあっており、緑の募金事業もその一翼を担っている。

今世紀は、20世紀に人類が荒廃させた森林を再生、創造する時代。私達は、森林を見つめ水に親しむ一方で、尊い森を、未来世代に残す使命を持つ。未来世代に対して恥ずかしくない人類の一員でありたい。

森と緑の会香美市支部事務局長

(香美市林政課長) 小松 清貴氏



## 間伐材のプランターへ緑を。



高知城の玄関口、「高知県立文学館北側」の旧花月跡地にある間伐材を利用した木製プランターがあります。

7月31日(火)、観光客も通ることから「土佐」の名前にちなんだトサミズキと、ビョウヤナギ等の花木48本を提供して植栽。「緑の募金」が苗木の購入に使われています。

## シカに森が食われる！

各地でシカの食害が深刻な問題となっています。三嶺も例外でなく、ウラジロモミ等の多くの樹種の樹皮がはがれ、ササが広く食われた場所は、夏なのに冬のような枯れた景色になっています。暖冬がシカの増加に拍車をかけているとのこと…。地球温暖化の影響がこのような所にあらわれていると思うと、自分達の生活スタイルも気をつけたいものです。



2007年7月撮影



## 森林環境税の公募事業をご紹介

高知県から間接補助事業として、今年度は「こうち山の日の企画」公募事業の広報(ご案内や取材)は、当会のHPに随時アップ。各地の取り組みをご覧ください。

## 日常の暮らしの中から森づくり N C B 緑の募金カード

このカードを使ってお買い物するだけで緑の募金。入会時に、便利なマイバッグをプレゼント。入会金・年会費無料。

### ごくりと一息！森づくり ～「緑の募金」自動販売機～

同じ飲むなら「緑の募金」自動販売機。対象販売機には、緑の募金の標示がされています。協力企業は下記の3社です。

- ・ダイドードリンコ
- ・四国キヤンティーン(コカ・コーラ系列)
- ・岸田サービス(サントリー・アサヒ・ボッカ・大塚製薬・ネスレ)

## 海から研修、ボランティアリーダーステップアップ講座

6月29日(金)・30日(土)の日程で、ステップアップ講座を開催しました。1日目は、国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所のご協力を得て、船舶で高知港湾の果たす役割や、「海」から護岸や海岸線や「森」を見ることにより、これまでとは違った目線で「森・川・海のつながり」を考えました。また、高知県水産試験場の松浦さんや、香南市立野市小学校の時久校長先生の話を聞き、互いの意見交換もしながら有意義な研修となりました。



## 親子52名が竹の食器や竹ぼっくりづくりに挑戦！

8月4日(土)、県立高知青少年の家主催の体験教室に親子52名が参加。当会2名と情報交流館ネットワーク3名が指導者となって、竹の器やお箸を作りました。みんな熱中して作っていました。



## 巨樹・古木

森と緑の会の前身、高知県緑化推進委員会の時に県内各地の巨樹に看板が立てられました。10年以上経った今、再びそれらの木に会いに行くべく特集をしていきます。

### 佐川の大楠(高岡郡佐川町福荷)

樹齢(推定)800余年、樹高30m、胸高周囲13m、根本周囲17m。昭和31年2月7日高知県天然記念物指定。この大楠は神木として神社と共に崇拝され、佐川の大楠として広く知られている。

諏訪神社は健美名方神を祭神として、元禄3年(1690年)に建立された。信州諏訪神社よりの勧請で、「諏訪大明神」と称され、広く周辺市町村から厚い崇拝を受けている。



2007年1月撮影

- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

社団法人 高知県森と緑の会

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80

高知県森林総合センター内

TEL 0887-52-0072 FAX 0887-52-4177

E-mail info@moritomidori.com

ホームページ <http://www.moritomidori.com/>

